

議事要旨

名 称	令和4年度 第2回 目黒区在宅療養推進協議会
日 時	令和5年2月1日（月）午後6時30分～午後7時45分
場 所	オンライン開催（ホスト会場：目黒区総合庁舎 地下1階 第17会議室）
出席者	（委員）七里眞義会長、渡邊英章副会長、寺田友英委員、樋口直美委員、廣川直美委員、徳永泰行委員、岡島潤子委員、水野恭子委員 （区職員）竹内健康福祉部長、石原健康推進部長、堀内健康推進課長、保坂福祉総合課長、田邊健康福祉計画課長、橘保健予防課長、滝川感染症対策課長、齋藤新型コロナ予防接種課長・碑文谷保健センター長、相藤介護保険課長、高橋高齢福祉課長、岩谷障害者支援課長、中野生活福祉課長
次 第	1 開会 2 議事 （1）目黒区のケアマネジャーの状況 （2）令和4年度 在宅医療と介護の連携に関する研修 （3）目黒区の新型コロナウイルス感染症の発生状況 （4）難病対策について （5）その他
配布資料	次第 資料1 目黒区におけるケアマネジャーの状況 資料2 令和4年度 在宅医療と介護の連携に関する研修 資料3 目黒区の新型コロナウイルス感染症の発生状況 資料4 難病対策について 参考資料1 目黒区在宅療養推進協議会設置要綱 参考資料2 目黒区在宅療養推進協議会 委員名簿
議事及び質疑応答	
<p>（1）目黒区のケアマネジャーの状況 岡島委員より、資料1に基づき説明。 質疑応答：なし。</p> <p>（2）令和4年度 在宅医療と介護の連携に関する研修 福祉総合課長及び樋口委員より、資料2に基づき説明。 質疑応答：なし。</p> <p>（3）目黒区の新型コロナウイルス感染症の発生状況 感染症対策課長より、資料3に基づき説明。 主な質疑応答、意見等は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院内でも現在入院患者や受診する患者も減少している。しかし、国の報告からも変異株が増加している。リスクがなくなったわけではない。 ・今後、感染症法上の分類が5類に移行するといった話が出ているので、感染の動向によって、次のピークがいつ来るのかということも、視野に入れ、それぞれの分野で準備しておく 	

必要がある。

- ・セルフチェック後に陽性者登録センターに陽性者が登録しているかということが一番心配である。感染者数が本当はどれくらいいるのか、不安に思っている。
- ・海外の論文を見ると無症候性の感染者が非常に多いとある。半分くらいは全く無症状のまま感染し、それを周りの方に拡げているというデータもある。
- ・薬局では常時10人前後の患者が待合室で待っている状況なので、寒い時期だが、換気のために窓は開ければなしにし、ご協力いただいている。
- ・自己検査キットを購入した後、陽性でご相談があったのは1～2件である。本来の陽性者数を把握するのはなかなか難しい。検査のタイミングで結果が異なったりするので現在も対応に苦慮している。
- ・ご家族の体調が悪いということをきちんと教えてくれないため、訪問サービスに入り、コロナに罹患してしまうケースが多くあった。今後5類になったとしても対策は継続して行うといった認識が必要である。
- ・統計などからも変異株が非常に速いスピードで増えている。中には重症化リスクはオミクロン株と同じと言われていたものもある。統計上の数値では重症者は減少しているといった見方もあるが、医療の現場では高齢者の死亡に繋がる大きな要因となっていると考えている。
- ・情報がなかなか入ってこないで、5月以降の国の指針などの情報共有もお願いしたい。介護をしている家族などにも分かり易い解釈が必要である。高齢者は感染から看取りへと繋がるケースも多いので、入院するかどうかは大きな問題である。取扱いが変更になるようであれば、研修等の開催もご検討いただきたい。より質の高い在宅ケアを担うことができるようお願いしたい。
- ・様々な機関に非常にご協力いただいている。しかし、まだ介護保険の認定調査が行えない医療機関もある。退院までに認定がおりず、準備が整わないまま、退院してしまうといったケースもある。また、退院に向け、オンラインによるカンファレンスができることもあるが、まだ、ご家族も本人の状況が分からないまま、急に「〇〇日に退院」ということもある。介護サービス等の調整には苦慮している。

(4) 難病対策について

保健予防課長より、資料4に基づき説明。

質疑応答：なし。

その他連絡事項

令和5年度 目黒区在宅療養推進協議会 2回開催（予定）

以上